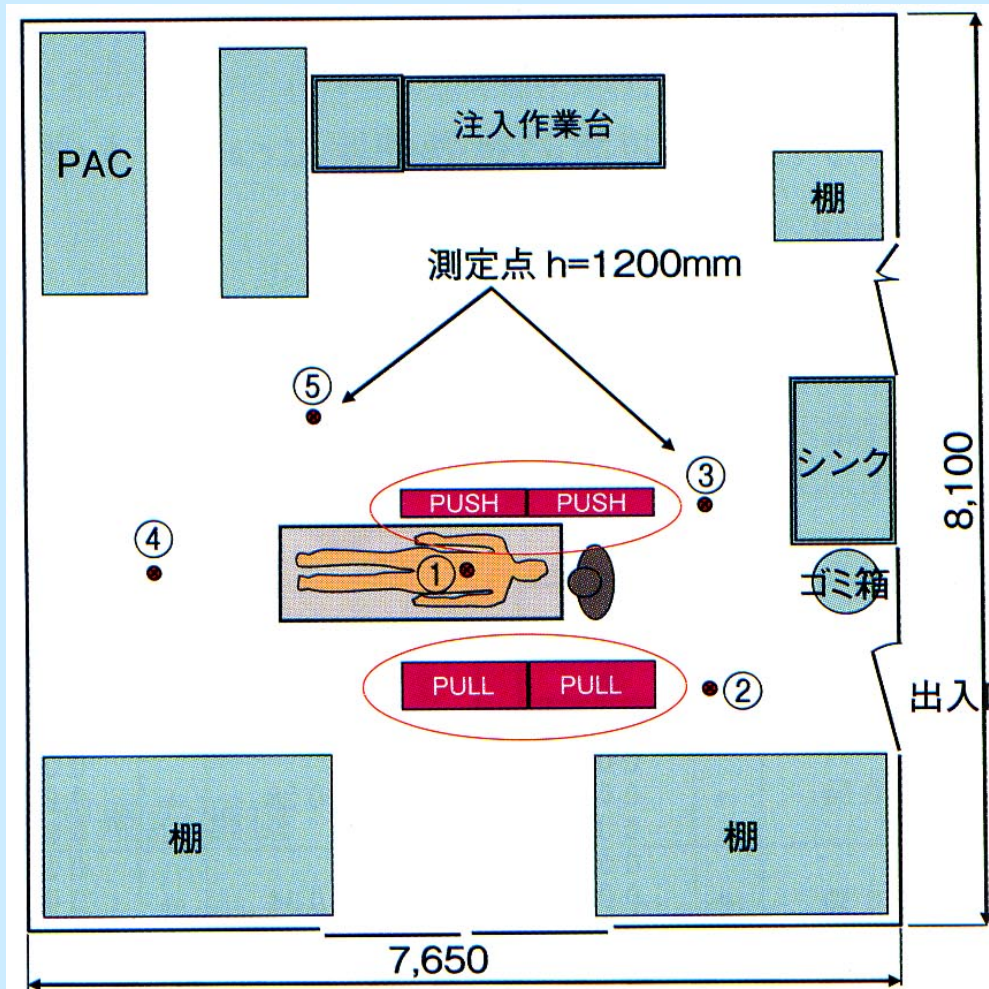


解剖準備室内のホルムアルデヒド濃度



抜脳作業時の配置図及び測定点

測定日 作業	2/21 抜脳	
	換気装置 OFF	ON
測定点	濃度 (ppm)	濃度 (ppm)
①	0.38	⇒ 0.12
	0.34	⇒ 0.07
②	0.31	⇒ <0.01
	0.30	⇒ <0.01
③	0.29	⇒ 0.20*
	0.34	⇒ 0.08
④	0.16	⇒ 0.06
		0.03
⑤	0.13	⇒ 0.07
		0.03

※開放した容器の移動時

抜脳作業時ホルムアルデヒド濃度

解剖実習用プルフード用FAフィルタの仕様



FAフィルタ

仕様

1台あたり8個使用

サイズ(mm) 478×228×56

定格風量 1.5(m³/min) 1個あたり

重量 約2.6(kg) 1個あたり

* 吸着剤はホルムアルデヒド

専用活性炭を使用

ホルムアルデヒドに対する除毒能力

有機ガス用活性炭とホルムアルデヒド専用活性炭の比較

試験濃度 [ppm]	有機ガス用 [min]	FAガス専用 [min]
3	3	6006 (約100時間)
10	0	2811 (約47時間)
20	0	1077 (約18時間)
30	0	529 (約9時間)

* 破過基準0.1ppm、温度20度、30L/min、湿度50%

FAフィルタの性能

1. 使用活性炭の特長

- ・確実な濃度低減が可能な技術

ex 上流30ppm → 下流0ppm 1時間以上可能

- ・フィルタ性能の仕様

ex 上流30ppm: 0.1ppm破過時間 約3時間

上流 1ppm:0.1ppm破過時間 92.5時間

(実習期間某大[医科]20日/年、某大[歯科]16日/年)

2. 使用実績

- ・某大学解剖実習室(他大学より実習時間長い)
2年使用

フィルタ管理方法

	方式	消耗品	コスト
ガス モニター (監視)	検知テープ 光電光度法	カートリッジ (テープ)	本体60万円 テープ1.5万円 +工事費
検知器 (測定)	試験紙光電 光度法	TAB	本体8万円 TAB5千円(20個)
検知管 (測定)	検知管法	検知管	本体2万円 管2千円(10本)

* 測定レンジ(ガスモニター、検知器) 0~1ppm

FAフィルタ監視モニタリングシステム

